

留萌市道の駅基本計画（素案）に対するパブリックコメント結果

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和元年10月9日（水）から
令和元年11月8日（金）まで

(2) 意見の応募者数 5名

(3) 提出方法の内訳

提出方法	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	1人	2人	1人	1人	5人

(3) 意見への対応

- ① ご意見を踏まえ、素案の修正を検討するもの
- ② 今後の参考とするもの
- ③ ご意見の主旨や内容を盛り込み済みであるもの
- ④ その他（本素案そのものに対するご意見でないもの）

2 パブリックコメントの結果

(1) 「道の駅のコネクト」に関する意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
1	留萌の海産物といっても「数の子」くらいしか思い浮かばず、それ以外のものがあっても他地域に秀でるものを旅行客は認知していないため、留萌管内の海産物を購入可能とすれば購買力は増加するのでは、また、留萌管内をアピールすることで、管内の町村を訪れる旅行客も増え、市内に宿泊する客の増加も見込まれる。	本道の駅では、留萌市のみではなく留萌地域の玄関口としての機能を発揮できるよう、地域資源や食、人、活動の情報などを発信するほか、他の道の駅との連携を図りながら、地域全体のPRを行ってまいりたいと考えております。	②
2	一番の強みは留萌駅に隣接していること、列車を活用した道の駅利用者の集客を考えても良いのでは、留萌本線の継続にも寄与できる。また、公園で様々なスポーツ大会を開催できれば、選手を中心に数十人単位の人が集まり、また、列車利用なら子ども、高齢者も参加しやすい。	JR留萌本線の今後の動向もありますが、周辺環境の変化に対応しながら、「コト」づくりに取り組み、道の駅を目的地化することによって、大勢の方に来訪していただけるよう進めてまいりたいと考えております。	②

No.	意見	市の考え方	意見への対応
3	留萌は真冬の荒天時に天気予報で放送され、冬の厳しさは全国に認知されているため、冬季の公園利活用として東北の地吹雪体験ツアーの留萌版として、真冬の強風体験ツアーやその他の冬季公園活用例として雪中サッカー、雪中ラグビー、雪合戦、雪壁迷路などのほか、他地域で実施していないものを体験できる場所・機会の提供を行ってみては？	冬期間における公園利活用策について、遊具や冬のスポーツ体験、地吹雪体験などのイベント開催により、冬の魅力づくりを進めてまいりたいと考えております。	①
4	セグウェイ、バランススクーターなど普段乗れない遊び感覚の乗り物や冬季のスノーモービルのレンタル、逆バンジーやジップラインなど大人や子どもが楽しめ、道内の都市公園でもあまり体験できないものを提供してみては？	多目的芝生広場やイベント広場などの公園施設、海に面した立地状況などを活かした道の駅での「コト」づくりを検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②
5	「留萌管内最大のマチ」の特色を活かし、例えば管内の人が楽しめるものとして、パブリックビューイングの設置や管内のアマチュアコンサートやキッチンワゴンを使った管内料理を提供する留萌管内マルシェのほか、コミュニティFMへの出演（安易に出演でき、旅の思い出になる番組の製作）を行ってみては？		
6	公園と留萌川を隣接させ、船着き場を作り、船上からの夕陽ツアーなど海まで遊覧できるコースの設置や「船で行く管内の道の駅めぐり」を行ってみては？		

(2) 「施設整備方針」に関するご意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
7	市内飲食店を紹介できる掲示板を用意し、意欲のある店には有料で掲示板を利用してもらおう。	街なかへの誘導に繋げる情報発信の手法を検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②
8	妊婦向け24時間施設は必要なのか。	国では既存の24時間利用できるトイレ等の機能に加え、子育てを応援する機能など道の駅の機能を高めるための取り組みを進めており、道の駅への登録に際し、必須の要件となっているため整備を行うものです。	④
9	冬でも使える野外常設ステージを設置し、イベントで活用したら良い。	公園全体を活用したイベント等を検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②
10	留萌ならではの「おもてなし」として、「道の駅」前の岸壁発着の漁船によるクルージングを行っては？	海に面する立地状況を活かしたイベント等を検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②

No.	意見	市の考え方	意見への対応
11	愛犬を連れてドッグランで遊ぶ分遊ばせたいというニーズがあるため、ドッグランが近くにあることを強くアピールしてください。	道の駅や公園の情報を発信するなかで、ドッグランの施設についても十分PRしてまいりたいと考えております。	④
12	札幌から日帰りで留萌へ来る家族旅行者を想定した場合、留萌での滞在時間となる4時間程度を費やせるもの(往復4時間をかけて来なくなるもの)がないと集客が困難では？	観光体験メニューの発掘、提供など、「コト」づくりを進め、回遊性を持ちながら街なかや管内への誘導に繋げる手法を検討してまいりたいと考えております。	③
13	翌日まで滞在するとしたら、よっぽど時間をつぶせるものがないと無理。		
14	高校生が参加できるコーナーを作ってほしい。カズモちゃん焼の販売など学生ならではのアイデアいっぱいの商品が生みだされると思う。	ご意見のとおり、地元高校生によるイベントの開催に取り組んでまいりたいと考えております。	③
15	留萌地方は道内でも例を見ない食材が豊富など、その特徴を最大限に活かした事業展開を行うのが自然な気がします。そのように考えるとカフェが事業の中心となっても良いと思うし、くつろぎの場と食を組み合わせて一体的となった運営は出来ないものかと。	本道の駅では、市内・管内の食などの情報を来訪者へ提供し、街なかや管内への誘導を行うことを目的としていることから、地域のアンテナショップ機能のほか、地域の食材を活用した軽食などを提供してまいりたいと考えております。	②
16	朝に札幌を出ると昼ごろに留萌へ到着し、物流、ビジネス、通過型の観光客の人達は、軽食で一休みという時間帯なので、もっと旨いものは、市内の飲食店へと誘導したほうが良い。	市内には留萌の魅力を発信できる飲食店等が充実しておりますので、道の駅において適切な情報を発信し、街なかへの誘導を行いたいと考えております。	③
17	他で食べられる「海鮮焼き」と「るもい浜焼き」の違いは？酒の肴とするのであれば車が運転できないのでは？	一般的な海鮮焼き(浜焼き)は魚介類のみですが、肉と一緒に魚介類を焼くものを「るもい浜焼き」としてPRしており、道の駅では来訪者のほか、地元の方にも様々な場面で手ぶらで気軽に「るもい浜焼き」に親しんでいただきたいと考えております。	④
18	道の駅は美味しいものが食べられるという強烈な魅力を少しずつ積み上げていかなければならないと思う。		
19	留萌から来たついでに美味しいものがあれば食べるが、札幌から往復6時間をかけても食べたいものは？	本市を含め留萌地域は、高品質な南るもい米を始め、野菜や果樹、海産物などバラエティに富んだ一次産品に恵まれており、これらの地域資源を活かした地域ブランドの構築を支援し、情報発信を行ってまいりたいと考えております。	②
20	生産者や事業者に参加してもらって、農産物・水産加工品を販売したほうが良い。	農産物、水産物や水産加工品は、道の駅利用者のニーズが高いものですが、地場の農水産物については、通年での提供が難しい状況のため、生産者等の協力を得ながら、品目の充実を検討してまいりたいと考えております。	③

No.	意見	市の考え方	意見への対応
21	留萌管内の特産品を売っても良いと思う。	留萌管内の情報発信の手法を検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②

(3) 「施設整備計画」に関するご意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
22	シャワールーム、ドライヤーのついた洗面台や更衣室が必要	今後、整備予定の車中泊専用駐車場を検討する上で、ご参考とさせていただきます。	②
23	車以外の利用者の便が悪いため、留萌駅から公園への通路（未使用路線側）は直ぐにでも開設すべき。	道の駅へのアクセス環境の向上につきましては、船場公園周辺のまちづくりを進める中で検討してまいりたいと考えております。	②
24	（屋内交流・遊戯施設の）カフェの場所はイメージ図の場所で最適なのだろうか？	基本計画における屋内交流・遊戯施設のゾーニングイメージは現時点のものであるため、今後、具体的な施設機能を検討するなかで、配置場所についても検討してまいりたいと考えております。	②

(4) 其他のご意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
25	国道232号からの立ち寄り率や認知率をあげるためには、案内標識とランドマーク的な建造物が必要。船場公園は国道から直接視認できないことから、公園直近で存在感がある「ルルモッペ大橋」を公園のイメージに取り込み、看板や広報などにも反映させることで「この橋で曲がる」という行動に結び付けることができると思う。	留萌地域の玄関口としての機能が発揮できるよう、道の駅のPRを進める中で、ご参考にさせていただきます。	②

(5) 道の駅に関する感想等

道の駅の計画は、面白い試みだと思いますので、皆が笑顔になるような道の駅になることを願っています。
列車で行けるのは良いと思う。子ども達だけでも駅を降りてすぐに公園なので行かせやすいし高齢者も利用しやすい。また、天候に左右される可能性はあるけれど列車であれば飲酒も可能で、冬季も運転しない分安心して利用できるし時間が正確なので計画も立てやすい。
留萌管内のドライブ（オロロンライン）は適度に道の駅などがあるので家族連れのドライブには適している。
留萌管内観光時の拠点としては良いかも。留萌に泊まりたいと思わせるものがあれば他地域を観光した後、留萌で宿泊し、翌日に帰るのはあると思う。